熊歯会報

11
2008

Kumashi Kaihou

2008年11月15日
No.631

熊本県歯科医師会

熊歯会報 11月号

2008

歯科医師の倫理綱領

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

社団法人　日本歯科医師会

—表紙に寄せて—

今年の夏は、雨は多かったが幸い台風の被害はなく無事収穫です。自分たちの食料は、自国で確保したいですよね。（H.K）

もくじ

巻頭言（学術　伊藤　明彦）……3

終身会員は増加中（会長　堤　直文）……4・5

第7回理事会……6

委員会だより……7～11
（学術・社会保険・地域保健・厚生管理）

学術レポート　……12～13

郡市会だより（荒尾・玉名・八代）……14～15

新入会員……15

会務報告　……16～19

陰の努力と生涯研修

学術担当理事　伊藤　明彦

インターネットの発達は、情報の検索・収集・データーのやり取りの迅速化、テレビ会議など私たちにたくさんの恩恵をもたらしています。そして、今後私たちの予想をはるかに超えるスピードで発達していくことでしょう。その反面、一方的に送られてくる広告、データーの流出、書き込みによる誹謗中傷などさまざまな社会問題もでてきています。

日歯学術関連のインターネット活用としては、生涯研修事業にE－Systemが導入されました。この導入により研修会でICカードをカードリーダーにかざすだけで登録が可能になり、他にも日歯ホームページのE－Systemにログインして迅速な自己研修登録、研修教材によるWEB研修や、研修状況の把握がリアルタイムにできるようになりました。ただインターネットでアクセスできない会員の先生がいらっしゃることや、研修項目の登録に関する問題点も多々あり、今後改善をすべく日歯で一生懸命取り組んでいます。

日歯生涯研修事業の目的は何かご存知でしょうか？

「歯科医師は国民の健康維持・増進に責任を持つ専門職であり、歯科医学の進歩に対応して必要な研修を生涯にわたって続けることは当然の責務である。

また、世界の歴史に前例を見ない速さで高齢社会になった日本において、歯科医師の社会的責務は今後一層大きなものとなる。会員がその責務を果たすために不断の努力を重ねるための支援を行うこと、また、この事実を広く国民に提示し、国民の理解と正当な評価が得られるようにすることが本事業の目的である。」とされています。

いろいろな理由はあるにせよ無責任極まりない最近の首相交替劇とは逆に、惜しまれつつ退任される方もいらっしゃいます。私たちの子供のころのヒーロー王監督です。華々しく活躍された選手時代には観客の前で感動的なプレーをし、人に見えないところでは血のにじむ努力をしていたということです。あの毒舌家の楽天の野村監督が、現役時代に荒川コーチに頼んで王選手の練習を見学させてもらったところ、ただ「すごい」と感じるのみで、とても王に話しかけることのできる雰囲気ではなく、「王の素振りに比べれば私のそれなんて遊びみたいなものだった」と雑誌に書いているほどです。

歯科医師は、人に見せるためのスタンドプレー的診療をする必要はありませんが、人体を扱っている限りは患者さんのために日々の研鑽を怠ることはできませんし、時代に合わせたエビデンスに基づく最新で確実な診療をしなければなりません。今後も会員一丸となって研修し、県民に安心安全な歯科医療を提供していきましょう。

最後にE－Systemの導入による生涯研修制度の大きな変化、県歯推奨歯科医院制度の導入など会員の先生方にご理解、ご協力していただき、今年度の学術関連事業も進行しております。あと数ヶ月で2期目の任期が終了しようとしていますが、最後まで精一杯取り組ませていただきますので、よろしくお願いいたします。

終身会員は増加中

会長　堤　直文

少子高齢化社会となり、後期高齢者という言葉ができ、そして後期高齢者制度が社会問題となりました。実は、県歯科医師会も高齢化社会を無視できなくなり、幾つかの問題点も浮き上がってきました。つまり、会員の先生方の高齢化が顕著なものとなってきたのです。

このことにより、今後県歯科医師会の制度にある終身会員が急増していくことが予想されます。ご存知のように、終身会員とは、定款上の会員種別の言葉で、会員30年以上、70歳以上の方を言います。この終身会員の方々が、平成20年４月現在で105名おられ、直近の５年間は毎年平均８名の先生方が該当し、終身会員となられています。

しかし、10年後には、昭和40年代に歯科大学が多く設立されたこともあり、その当事の卒業生が70歳を迎えることになり、具体的に終身会員の大幅な増加が表面化してきます。

〔図１〕に示すごとく、10年後の平成30年には23名。それ以降５年間で130名、年平均で26名の方々が順次終身会員となられます。

前月号で入会者の加入低迷ということについて書かせていただきましたが、現在の入会者数で推移し、現在の70歳終身会員制度で推移しますと、〔図２〕のごとくになると推定されます。

〔図２〕は直近の10年間の平均値をもとに確定しています。

◆入会者、年…平均17名と推定。
◆終身会員数…実数。
◆退会者数、死亡退会者数…実数よりの推計。
◆一般退会者数…平均７名と推定

これらに補正を組み合わせますと、平成33年には退会者数18名、入会者数17名となり、この歳から総会員数は減少に転じます。このこともあり、前月号に記載しました未入会者問題もさらに枠を広げて、大所高所から考えていきたいものです。

そして、平成40年度には、終身会員の方々が約40%、一般会員の方々60%となりそうです。この様な会員の高齢化による問題は、他にもいろいろとありますが、その大きな問題点は、歯科医師会の収入のほとんどを占める会費徴収であります。現在、終身会員の会費は年１万円であり、このまま終身会員が増加し、一般会員が今と同じ加入数を確保できなければ、県歯科医師会の会計収入を一般会員の会費収入を主体としている今の状況に赤信号が見えてきます。

この赤信号の解決方法として、会費徴収の見直し、特に終身会員の会費を検討すべきかもしれません。日歯や他県の歯科医師会の会費徴収も、この終身会員の急増への対応に苦慮しています。対策の一つは、終身会員の年齢を引き上げる点であります。
つまり、70歳を75歳にということが他県でも解決策の一つして提案されています。

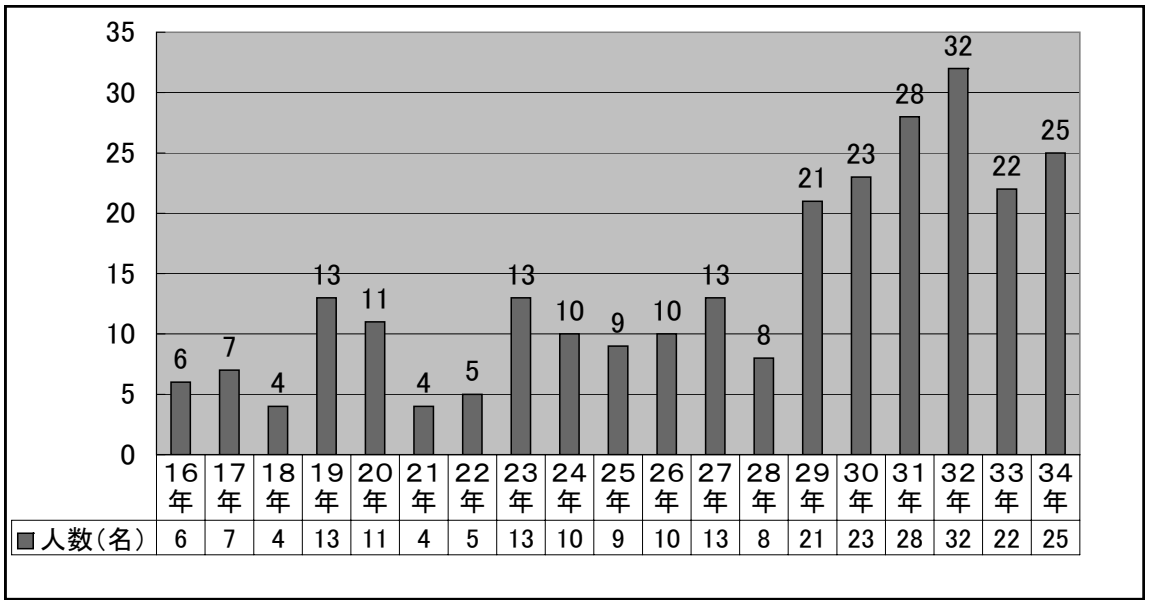
この場合に考えなければならないのは、すでに70歳で会費減額の権利を得ておられる会員の方々の処遇であり、また高齢となり病気や経済的問題で会費負担が難しくなられた方々への配慮が必要なのは云うまでもありません。

これらのことを考えながら、本会会務運営の安定化を図るため、所要の措置を講じる必要があります。会員の年齢構成の推移を考慮した上で、会員間の負担感の公平性を高めるとともに、今後の法人の財務体質の改善を現時点から図るべきであろうと思っております。

このようなことを会員の先生方にもご考慮頂き、またご意見等を頂きながら、よりよい解決策を見出すことができれば幸いに思います。

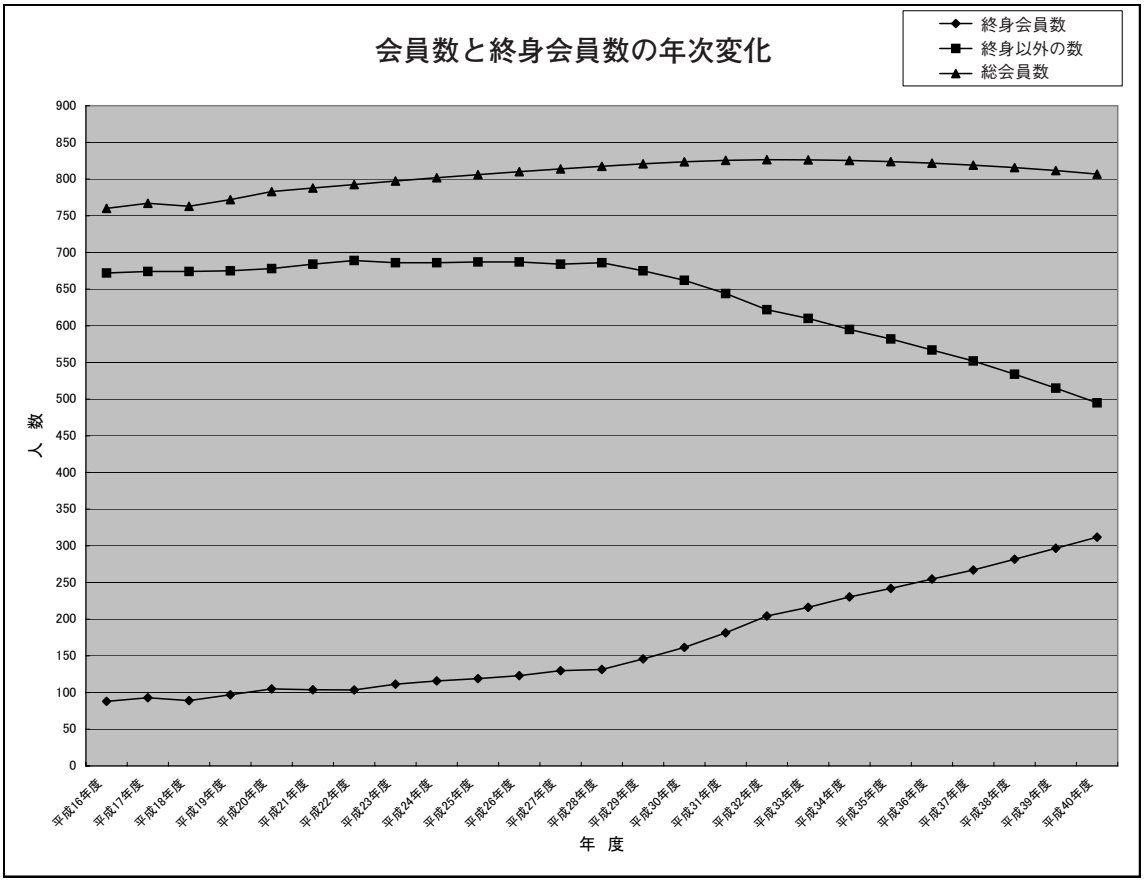
〔図１〕

新規終身会員数（70歳）



平成20年7月現在

〔図２〕



理事会報告

臨時代議員会に向けての審議

― 第７回理事会 ―

９月８日（月）午後６時より県歯第１会議室にて、堤会長ほか全役員出席のもと、議長を堤会長、議事録署名人を松岡・勇理事とし開催された。

堤会長あいさつ

本日、地方社会保険医療協議会へ出席して参りましたが、その会議において歯科医の保険医登録取り消し処分がございました。幸いにも会員ではありませんでしたが、歯科医の処分ということで肩身の狭い思いが致しました。この歯科医の事情はわかりかねますが、このようなことが起こらないように、引き続き会員へのご指導を宜しくお願い致します。

報　告

総　　務：第６回理事会、第11回常務理事会、第５回日歯理事会、第６回日歯常務理事会、本会連盟役員打合せ、中規模県歯科医師会連合会、医療・保健・福祉連携学会企画実行委員会、都道府県会長会議、県救急医療連絡協議会、歯の健康力推進歯科医師等養成講習会
学　　術：学術・社会保険合同研修会 [天草地区]、県海外研修事業研修員歓迎会
社会保険：学術・社会保険合同研修会[天草地区]、社会保険指導者研修会
地域保健：第２回県健康づくり県民会議幹事会、第８回県健康づくり県民会議
厚生管理：健康診断[宇土郡市、阿蘇郡市、鹿本郡市、天草郡市]
広　　報：熊歯会報９月号校正
学校歯科：新規採用養護教諭研修全体講話
医療対策：医療処理
調査ＩＴ：ウェブ会議、本会ウェブサイト運営
国　　保：九歯連役員会、全協九州支部幹事会・総会・職員研修会

以上、８月22日から９月４日までの総務、各委員会、他の動きについて、会長及び役員より報告がなされた。

報　告その２

１．後援依頼
○黄色い羽根募金運動／熊本県角膜・腎臓バンク協会
○学術講演会／新樹会

２．歯の健康力推進歯科医師等養成講習会事業計画・予算
同講習会（８月30日・31日、10月11日・12日、及び施設見学の計５日間）の事業計画、並びに予算についての報告がなされた。

３．学院ホームページの変更
受験者数の増加を目的として、学院ホームページを全面リニューアルした旨の報告がなされた。

４．熊本県学校保健会への協力寄付金
標記寄付金について、三師会の中で歯科医師会が最も少ないので、本年は１口3,000円に引き上げて（前年度は１口2,000円）全会員へ協力を呼びかける旨の報告がなされた。

５．臨時代議員会の協議資料
臨時代議員会の協議は「未入会者対策について」「入会金・会費について」「会員種別について」の３題が予定されているが、その資料についてはそれぞれの協議が関連しているため、ひとまとめにした資料を用意する予定である。また、義歯のネーム入れの件についても、代議員に協議をお願いする予定となっている旨の報告がなされた。

６．熊本県歯科医学大会（仮称）講師
１月11日（日）、12日（月）に開催される標記大会の講師紹介が行われた。

協　議

１．新入会員の承認（承認）
一般会員１名、準会員１名の入会を承認した。

２．平成20年度臨時代議員会の対応（承認）
原案通り承認した。

３．臨時代議員会の事前質問（承認）
代議員から提出された事前質問６題について、それぞれの回答者を決定した。
また、回答、及び説明のために、当日追加資料をそれぞれの担当により準備することとした。

４．歯の健康ランド共催依頼 [新樹会](承認)

５．その他

６．10月当面の行事予定

（広報　宮坂　圭太）

学術団体として社会的貢献を

― 九州各県学術担当者会議 ―

学術委員会

10月４日（土）午後２時から５時まで平成20年度九州各県学術担当者会が福岡県歯科医師会館で開催された。

最初に、福岡県歯科医師会　秋山愼一郎理事により開会された。

続いて福岡県歯科医師会　秋山治夫会長の挨拶があり、歯科医師会未入会者等の話しをされた。さらに日本歯科医師会　江里口彰常務理事より挨拶があった。先日アムステルダムで開催されたFDIに行かれたことで、ヨーロッパではインプラント治療が日本のそれとは違いルーティンに行われていることなどを話された。

Eシステムに対する質問や要望が多かった

その後出席者の自己紹介と挨拶を行い座長の選出に移った。今回の座長は福岡県　秋山愼一郎理事、次期主催県である、大分県　加來敏男理事が選出された。

その後江里口常務より以下のような日歯報告がなされた。

日歯生涯研修事業の意義と理念

日本歯科医師会が学術団体として社会的に貢献し高い評価を得るために必要なものである。さらに会員の確保と維持を確かなものにする効果までも含んでいる。

生涯研修の一環としてIT化を進める

Eシステムを立ち上げ、ICカードによる研修受講の登録をしたり、ライブラリーのWEB化を行ったりしている。

続いて担当者会議の主な目的である協議に移った。内容は以下のような報告、協議がなされた。

⑴　各県学術関係事業計画ならびに予算
各県の今年度の内容が報告された。各県それぞれ会員や地域住民に向けての学術的な講演会、シンポジウム、出版物などの事業報告がなされた。

⑵　各県提出協議題
・今後の歯科医学大会、特に能動的研修について？
各県どのように行っているか、また大学からの演題の提出状況の報告があった。
・高度先進医療の保険導入事項に関する研修会の開催について？
県によりその実施はばらつきがあり、ほとんどの県で研修会は行っていない。
・学術講演会をTV会議システムで実施する事に関して？
宮崎では社保講習会にそれを実施したところ好評であった。しかしながら、その他の県では実施されていなかった。
・講演会のWeb配信を日歯に要望することに関してどう思うか？
可能であればよいと思うが、インターネットの環境が整っていない地域やセキュリティの問題もあるのではないか。日歯はすでに配信を行っている。
・生涯研修事業における０単位者への対応は？
働きかけをしてはいるがなかなか効果が上がらない。熊本においては推奨歯科医院制度を立ち上げアプローチする。
・日歯生涯研修事業「Eシステム」について？
研修内容によっては登録用パソコンを２台以上必要とする、ICカードをなくす人がいる、などの細かい問題はあるが今のところ大きなトラブル、問題等はない。
・高齢化社会になったことなどから、ますます医科との連携が必要と思われるが各県の対応は？
各県、ビスフォスフォネート、糖尿病と歯周病、ワーファリンなどのテーマで講演会を企画している。三師会等で意見の交換を行っている。
・HIV感染者の受け入れについて？
沖縄では感染者が多いので苦慮している。他県においては特に対応はしておらず、公的医療機関に依頼するところが多い。

⑶　日本歯科医師会への要望、質問

概ねEシステムに対する質問や要望が多かった。今年度実施された新しい企画で各県とも大きな問題は抱えていないが、今後の展望への質問や情報のダウンロード等について要望が提出された。それに対し江里口常務から現在の状況、予定などの解説がなされた。

最後に福岡県の鴨川卓也理事の挨拶により閉会された。

各県から多くの協議題や質問が出され時間が足りない程活発な意見が出た。また、各県の思いや努力が垣間見られた有意義な会議であった。　（学術　松永　久）

「無理なく、無駄なく、適切に」

― 九州各県社会保険担当者会 ―

社会保険委員会

もう１回を合い言葉に診療を行ってもらいたい

九州各県社保担当者会が10月４日（土）午後２時から大分県歯科医師会館で開催された。

会議は、大分県歯・古賀聖規副会長の開会の辞で始まり、大分県歯・丸尾道彦会長より「平成20年改定では＋0.42%の平成18年からすると2.23%のプラス改定となった。各県の会員の少しでも豊かになるように努力していただきたい」、更に日歯・渡辺三雄常務理事より「改定結果のなんたるかを周知させていただきたい」との挨拶があった。各自による出席者紹介、座長・副座長選出に移り、座長に開催県の大分県歯・大津留康行理事、副座長には次期開催県の県歯・小川清文理事が選出された。

［日歯報告］

日歯報告が、渡辺三雄常務理事よりされ、改定に至る総括的な話、また、「尊厳の回復を」モットーに執行部は行って来た、との説明があった。

その中で、参議院選挙の当選による影響は、日歯の大きな流れの元になった。

５項目を大久保執行部の最重要執行目標としたところであるが、中医協の基本姿勢「国民・患者の為」の考えを基盤とし、次期の目標を、口腔保健法の導入の検討、在宅体制の基礎作りなどの項目があがった。

管理文書に関しては、負担が軽減されたところであるが、患者さんに対して交付文書の調査があるとのことで、会員へ周知していただきたいとの事である。

患者さんの口腔内を管理しているわけだから、「もう一回診てみましょうか」などの声かけを合い言葉に、患者さんの為に「無理なく、無駄なく、適切に」診療を行っていただきたい、と述べ、今後の日歯のあり方ついて詳しい説明があった。

［協議］

平成19年度各県社保関係事業計画及び予算について。

各県提出協議題については、各県回答の後、日歯・渡辺三雄常務理事より一つ一つ各県の疑問点に答え、日歯と厚労省と確認済みであることを述べた。九州の一地区と日歯がつながったと実感させられる有意義な会であった。

活発な会議となったが、大分県歯・長尾博通専務理事の閉会の辞で終了した。

（社会保険　前田章二）

「口腔保健法」を制定する意義

― 九州各県地域保健担当者会 ―

地域保健委員会

10月４日（土）午後２時より宮崎県歯科医師会館で平成20年度九州各県地域保健担当者会が開催された。

この会議では、九州各県の地域歯科の現在の取り組みと、日本歯科医師会に対する質問および反省等を話し合った。

日歯からは池主憲夫常務理事、山崎芳昭理事を招いて開催された。

座長は宮崎県歯科医師会の旭爪信二理事、副座長は次回開催予定の熊本県の八木義博理事で50人の出席だった。

話の中でも、国民の口腔保健の向上に寄与するための生涯にわたる口腔保健対策の推進にかかわる法律として「口腔保健法」を制定する意義と現時点での基本的考え方についての話があった。この法律の話が出てきたのは政治的な要因もあるのだが、長寿医療制度および特定健診、特定保健指導をはじめとした医療制度改革に関わる施策から出てきている。

また、特定健診での歯周疾患の検査項目への導入についてだが、歯周病と糖尿学会との取り組みが必要。香川県など数県で歯科を取り入れている県がある。

それと、特定健診に取り込まれたときの準備等をしておく必要がある。

先ずはアンケート等でふるいをかけ、そして歯科衛生士を表に出しながら進める必要がある。宮崎県ではオプションで特定健診を取り入れているとのこと。

九州各県の地域歯科の取り組み方を話し合う

特定健診について話す池主常務理事

熊本県より「歯の健康力推進歯科医師等養成講習会」のほかに後期高齢者医療制度への対策を予定している事業が無いのか、との質問を出した。

このように個人に対しての補助があるのは今回初めてである。少なくとも３年間は続けていってもらいたい。

その後分科会１．地域保健・産業保健と分科会２．要介護老人・障害者に別れ話し合われた。

分科会１．では政府管掌健康保険歯科保健モデル事業についてだが、調査等が単年度で終わってしまうので、少なくとも５年程度の期間の目標を決めて事業を行っていく必要があるのでは？またそのデーターを使用するのが出来ないのはおかしいのでは？との質問があった。

成人歯科保健関係では、糖尿病協会歯科医師登録医制度の活用のためにも歯周病との関連や連携が必要だと思われる、との意見が出された。

また禁煙事業について、各県の歯科医師会の分煙や歯科医師の禁煙の話が出された。

（地域保健　高橋　裕輔）

公益法人制度改革と保険業務に苦慮

― 九州各県厚生担当者会議 ―

厚生・管理委員会

10月４日（土）14時より長崎県歯科医師会館大会議室にて九州各県厚生担当者会議が開催され、本県からは瀬井委員長と有働委員が出席した。長崎県土井純次理事の開会の辞に続いて長崎県道津剛佑会長より挨拶があり、「今年度は後期高齢者医療制度の見直しや公益法人制度改革などの問題に対応していかなければならない。社会の流れを把握し歯科医師会として進むべき道を考え対応していかなければならない。」と述べた。また右田信行日歯常務理事より、これまでは厚生の会議は比較的平穏な会議であったが、今回は公益法人制度改革と保険業務で苦慮しており、参加者の意見を募りたいと挨拶があった。座長に長崎県石田常務理事、副座長に来年開催地沖縄県金城理事が選出され、右田常務理事の日歯報告に移り、「平成18年４月に発足した大久保執行部は、診療報酬改定への取り組みに続き公益法人の問題が挙がり、日歯共済年金を含め日歯連盟等と共に日歯全体で取り組んでいく構えであり、政府に声掛けしていくところとした。また、日歯年金の歴史から現状の年金制度への移り変わりを示し、終身制度、保険業との関わりを含め見直しの必要性を感じ、さらに会員の皆様方には今後の年金運用に関して長いスパンで見て欲しい。」と述べた。

社会の流れを把握し進むべき道を考える

協議事項

⑴　平成20年度の九州各県厚生関係事業計画及び予算

各県の事業計画及び予算の報告があり、熊本からは健康診断実施、高齢会員の慶祝行事の実施、医療従事者研修会開催、厚生・管理だよりの発行、熊大との代診派遣を含む連絡・協議、厚生管理関係講演会実施、国税局管内税務指導者協議会出席、医療安全管理マニュアル作成を行っていることを報告した。

⑵　各県提出協議題

①災害発生時における被災した会員への対応（宮崎県）

熊本県では火災及び災害休業については給付金、またそれ以外に火災・災害見舞い給付金を設け対応。また他の地域における災害に対しては県歯科医師会より一口1000円の義援金を募り一括して義援金を送るシステムを確立していると報告した。

②福祉共済制度の見直し、検討（鹿児島県）

熊本県では入院（単年度120日、生涯720日を限度）・脳疾患自宅療養給付金（入院給付に準じる）・傷病見舞金（休院、休診30日以上の自宅療養者、年１回）を支給していると報告した。

③会員の高齢化に伴う福祉共済会費の減少に対する対応策（長崎県）

熊本県では将来を見据え終身会員の負担の見直しを検討中と報告した。

④市郡歯科医師会の公益法人改革（佐賀県）

熊本県では14郡市の歯科医師会のうち４郡市が法人化、一般または公益の選択を検討中で法人格の無い団体については法人格になるか検討中と報告した。

⑤公益法人改革への取り組み（鹿児島県）、それに伴う各種積立金の支出計画（長崎県）

各県とも日歯の動向を見て検討していくとのこと。

⑶　日本歯科医師会への要望及び質問

宮崎県より公益法人改革における各都道府県の福祉共済会計の取り扱いについて進展が

あれば聞かせて欲しいとの質問があった。

これに対し日歯の右田常務理事は、「福祉共済会計において1000人以下は適応除外となるが場合によっては1000人を超しても適応除外となる。今後、都道府県ごとに専門家の意見を参考に検討していただきたい。また公益法人改革について、事業・資産の内容によりメリット・デメリットが異なり一概に公益社団法人が良いのか、一般社団法人が良いのかを示す事が出来ない。ついては各郡市会において検討委員会を立ち上げてもらい貴会における方向性を検討してもらいたい。なおその際の各種資料などは日歯より提供し質問にも回答していく。また総務省公益認定など委員会では、未だガイドラインの修正、定款ひな形の検討などを行っており時期をみて県歯科医師会において説明の機会を持ちたい」と述べられた。

九州各県の担当者より公益法人改革に関して早急に日歯の意向を確立してもらい、各県の見本となり指揮をとって欲しいという要望が強く求められた。３時間におよぶ会議は長崎県田中豊秋副会長の閉会の辞で終了した。今回の会議は終始公益法人改革に絞られ、公益か、一般かの選択が今後の歯科界の進むべき道を決めると言っても過言ではなく、慎重に検討していかなければいけない事項であると痛感した。　（厚生・管理　有働　秀一）

白熱した議論がかわされた

― 九州各県医療管理担当者会議 ―

厚生・管理委員会

日歯の高木常務理事の挨拶

九州各県医療管理担当者会が10月11日（土）午後２時より佐賀県歯科医師会館において開催された。本県から竹下理事と池嶋が出席した。佐賀県歯科医師会寺尾隆治会長の挨拶、日本歯科医師会高木幹正常務理事の挨拶、出席者紹介、座長選出の後、高木常務理事より日歯報告が行われた。①　公益法人化おける共済、年金制度について　②　レセプトオンライン化について　③　歯科医師需給問題について　④　終身会員の年令引き上げについて　⑤　機構改革について　⑥　加入率アップのための対策などについての報告であった。

ひき続き本年度各県医療管理関係事業計画および予算について各県より報告が行われた後、協議に入った。

協議事項

①　フィルムバッジについて
②　医療法の改正に伴う行政機関の動きについて
③　歯科衛生士の確保について
④　各県において電子マニュフェストへの取り組みについて
⑤　訪問診療における医院の体制作りに関して
⑥　保健福祉事務所の立ち入り調査における漏洩放射線量測定について
⑦　休日歯科診療について

①②⑥については各県対応はまちまちであったが医療法の改正に伴いマニュアルを作成している県が多かった。③については３年制に伴い志願者の減少もあり難しいが、スリーピングの衛生士の呼び起こしなどさまざまな対応があった。④については普及率は今のところ低いとのことであった。⑤については長崎県において行政と連携がうまくいっているとのことで質問も多かった。⑦については各県行政の補助が減少しており難しいとのことであった。

その他、海外技工について、歯科衛生士の業務範囲および就業環境の充実について、などについても議論された。

会議は予定時間をかなりオーバーする白熱した会議となった。佐賀県歯科医師会塚本浩樹専務理事の閉会の辞で終了した。

（厚生・管理　池嶋　由希）

学術レポート

「高齢者の口腔の治療・ケア・リハビリ」

八代　松下　哲也 会員

高齢者と要介護者が年々増加し、10年間で1.5倍になります。高齢者の17%が要介護者になります。

これは、在宅や施設・病院におられる方々の口腔内です。（図１）

豊かな国日本の高齢者の現状です。どうでしょう、皆さんの家族がこの状態になったら…。「出て行く医療」も必要になっています。

歯科医師にどのような依頼がこれから増えるのか、挙げてみます。

■訪問診療は、今まで通院されていた方が、寝たきりになって、在宅や病院・施設に入られて、義歯調整や新義歯作製で依頼を受ける場合です。

病院・施設に入っている方が、歯肉からの出血があり、スタッフや家族から口腔ケアが怖い。または、部屋に入っただけで口臭がする。何とかして欲しい。

（図１）

低栄養で、栄養改善を目指しているが、うまく噛めないまたは飲み込めないようだ、診て欲しい。

ケアマネジャーから、口腔に問題がないかアセスメントを採り、情報提供をお願いしたい。できれば、ケアの長期目標、短期目標を挙げてもらい、口腔ケアをお願いしたいなどの依頼です。

では、訪問診療に関して、述べます。

まず、脳卒中、パーキンソン病、認知症すなわち「障害」に対する理解を深めることが重要になります。

（訪問診療に関しては、「歯科訪問診療における基本的な考え方」2004年日本歯科医学会が出しているものを熟読ください。）

■外来での治療は歯科だけで、多くの場合、自己完結できます。しかし、訪問診療の場合は、有病者のため、主治医・担当看護師との連携が必要です。要介護者の場合は、治療の時から、ケアマネジャーと連絡を取っておいたほうが、介護保険に移行するとき、スムーズに行きます。高齢者の健康・生活・自立を支援するには、様々な職種のプロが連携することが必要です。

■当医院では、平成12年から訪問診療に取り組んでいます。

何でも始める時が特にエネルギーや知恵が必要になります。それぞれの歯科医院で規模もシステムも違いますから、それぞれに合わせた「等身大の訪問診療」を考えてスタートします。

治療内容と訪問日時での工夫を考えました。

初めから、診療室と同じ治療をしようとしても、大変な荷物になりますから、まず私は義歯だけの診療から始めました。

■訪問に出かける日時ですが、まずは昼休みや診療後の１～２時間から始めました。件数が多くなると、半日を使って対応する。要介護者も介護スケジュールが決まっていますので、時間と曜日を合わせるのが大変になります。

そして、徐々に決まった曜日、丸一日を使い、件数がさらに増えた時点で勤務医の先生の雇用を考えていきます。

■それでは、口腔ケアのケースを紹介します。１年間口腔ケアを続けてきて、利用者、ケアマネジャー、家族、歯科の連携がうまくいき成果がでたケースを紹介します。（図２－１）

（図２－１）

初　診　　平成18年10月７日
90歳（女性）　要介護度　３
基礎疾患として、逆流性胃腸炎、下肢筋力低下、老人性認知症があり、
障害高齢者自立度　（寝たきり度）　Ａ２
認知症高齢者自立度　Ⅲｂ

●初診時は歯間部には食物残渣が多くみられ、ブラッシング時の出血あり、舌苔は少量、開口度は２横指、という状態でした。主訴は、歯茎からの出血と口臭がひどい、ということでした。この患者さんの問題点は、嘔吐反射が強い、常にツバを吐く癖がある、ほとんど歯を磨かないということで、ご家族の希望は口腔内を清潔に保ち室内に充満した鼻をつくような臭いを消したい、ということでした。

●サービス担当者会議に担当衛生士が出席して、患者様の口腔内の状態を、先ほどの写真を見てもらいながら説明し、問題点のひとつである口腔内の清掃不良に関しては、歯科衛生士が行う口腔ケアと同じものをデイサービスでも患者に提供したいというケアマネージャーの意向で、後日デイサービスの介護者、ホームヘルパーに口腔ケアの指導をしました。ケアプランで、長期目標に、誤嚥性肺炎の予防、歯周病を増悪させない。短期目標に、歯磨きに慣れてもらい、口臭を減らす。ということを上げ、ケア内容は、

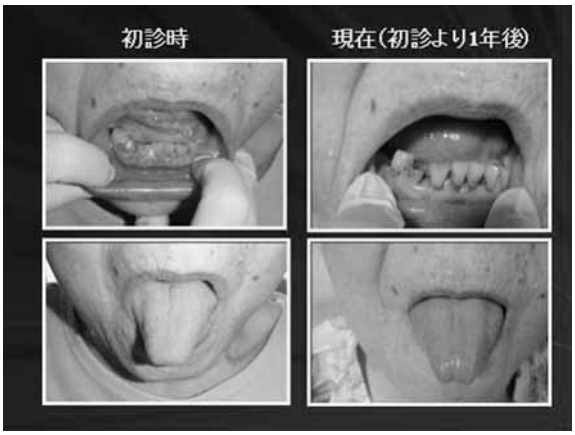
１．スポンジブラシで口腔内の清拭、マッサージ
２．タフトブラシ、歯間ブラシを用いて口腔内の清掃
３．舌の体操

を行いました。

●初診時と1年後の現在を比較した写真です。（図２－２）

歯肉の状態もよく、ブラッシング時の出血はほとんどありません。

舌苔もなくなり、きれいな色をしています。本来なら、カリエス治療、義歯作製をした方がいい口腔内です。しかし、この方にとって、それをするべきかと考えたとき、90歳で認知症も進んでいて、嘔吐反射もありますので、治療することによって、苦しい、痛いということを感じさせてしまうと、今まで続いている口腔ケアまで中断してしまう恐れがあります。



（図２－２）

そこで、ケアマネージャーと相談して、痛み、腫れもなく、食事も摂れる状態なのでこのまま口腔ケアだけを、きちんと続けて、誤嚥性肺炎の予防を重視することにしました。１年後の現在、口臭なし、室内の臭いなし、自分で歯を磨く様になった、ブラッシング時の出血なし、開口度3横指、ブラッシング時の嘔吐反射やわらぐ、よくおしゃべりをする様になった。

ご家族、ケアマネージャーから介護側の精神的負担もとれ、口腔ケアの成果が出ているという報告を頂きました。

■今後、高齢者・要介護者は急速に増加していきます。それに伴い、保健活動、訪問診療、介護予防、口腔ケア、口腔リハビリテーションなどの依頼が急増します。

積極的に介護の世界に踏み込む歯科医師、歯科衛生士が増えることで、QOL 向上に貢献でき、豊かな国、日本に見合うだけの、安心な老後の実現に歯科は貢献できます。

郡市会だより

北海道の大自然を満喫！

― 玉名郡市会員旅行 ―

玉名

あ～北海道旅行楽しかった。毎年恒例となった玉名郡市会員旅行が９月21～23日まで行われた。今年は３年に１度の遠方地へということで、北海道への旅であった。

初日は福岡空港を午前中の便でフライトし新千歳空港へ降り立った。あちらはうす曇りであり、早速バスをチャーターそのまま小樽へ直行した、車内より小樽運河を見学し、市内の繁華街を自由散策となった。集合時間になる頃には皆早くも両手にお土産を抱えての集合であった。その後宿泊地である札幌へ移動し夜は、ビールを片手に名物のジンギスカン料理を美味しく頂き盛会のうちにすすきのの夜も更けていくのであった。

２日目は晴天に恵まれ早朝から観光へ出かけた。バスに揺られること３時間着いた所はドラマでよく舞台になる富良野であった。有名なラベンダー畑は時期外れで観賞できなかったが、そこにはどこまでも続く北の大地の雄大な自然を堪能することができ一同感激するのであった。その後今話題の旭山動物園を訪れ、ここの動物達の見所である行動展示を見学したが行列が絶えることがなくとても１～２時間では回りきることは難しかった。夜は再び札幌でカニ料理に舌鼓を打った。この日は、さすがに移動に時間はかかったが、大自然を満喫し、動物園も見物でき、美味しい料理を食べ、とても充実した１日であった。

小樽の繁華街での集合写真

３日目は午前中自由行動で皆各々時間を過ごし、午後の便で無事に帰熊した。

今回の会員旅行は、北海道を満喫、堪能でき、いい思い出になった、日頃室内での仕事ばかりしている私達にとってはいい気分転換になったのではないだろうか。この旅に関わってくれた方々に感謝、感謝。　（山本　浩喜）

災害に備えた研修を

― 荒・玉合同学術講演会 ―

荒尾・玉名

10月10日（金）午後７時30分から、玉名市文化センターにて、荒尾玉名合同学術講演会が開催された。増田玉名郡市会長の挨拶のあと、前半の講演が始まり、犬束県歯理事による医療対策講演会では、委員会で対応している案件について、具体的に事例の説明をされた。医療トラブルを起こさないための心得について、短時間でポイントをおさえた話をしてもらった。補綴物の誤嚥時には、胸部レントゲンを撮影すること。対応が難しいと判断したクレームは、迷わず専門家に任せること。社会保険のルールをよく理解し、誤った説明を患者さんにしないこと。治療前に十分にインフォームドコンセントを行なうこと。前医の批判を患者さんにしないことなどについて講演してもらった。後半は、熊本県警察歯科医会副会長である吉田県歯副会長に、警察歯科医の組織、仕事内容、配布資料について、スライドの写真も交えながら具体的に講演をしてもらいった。警察歯科医については、通常、接する機会がほとんどないため、初めて見る資料であった。配布資料は、身元確認のための検屍用チャート、現場での歯科記録時の注意事項、身元確認マニュアル、警察歯科医会員証だった。具体的な検屍については、群馬県御巣鷹山の日航機墜落事故、愛知県小牧空港の中華航空機墜落事故の時の写真を使い、事故発生時から歯科医師会の対応と現場での検屍作業について話してもらった。また、熊本県での警察歯科医会の活動として、熊本空港災害訓練、熊本県防災総合訓練の様子も写真を使いながら説明があった。大規模災害は起きて欲しくないものであるが、もしもに備えての研修の必要性を実感した講演会となった。また、医療対策講演会では、日常臨床での心得を忘れずに臨床をせねばならないと感じた。　（桐野　美孝）

大規模災害に備えた研修が必要

郡市会だより

八代

公益法人制度改正への対応と検討

― 八代歯科医師会総会 ―

9月27日（土）午後3時より、八代ロイヤルホテルにて総会が行われた。

先ず増田会長より「八代地区に於いては歯科医療・歯科保健の必要性は高く、厳しい財政の中でも口腔センター改修に補助金を賜った。このことは会員の地域住民への貢献が認められたものと考える。今後もご理解、ご協力をお願いしたい。」との挨拶があった。

その後各種報告が行われ会計報告では県からの口腔センターへの補助金の削減に伴い、来年以降のセンター休日診療のあり方を考える必要性が指摘された。

また議事では役員の任期の変更について日歯・県歯に同調し、任期を2年にすることで承認を得た。

「口腔センター事業により一層の御協力を」と増田会長

協議では公益法人制度改正に伴い、委員会の設置が検討された。移行期間に5年あることからすぐに委員会を設置するのではなく、日歯・県歯の動向を見ながら執行部内での勉強会として対応していくこととなった。

全体を通してスムーズな会の進行を得られ、閉会後は懇親会にて、会員同士の親睦を深めた。　（宮本 名留彦）

新入会員 NEW

①今もっとも関心のあることは何ですか。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

親子会員

野田　和宏
上益城郡山都町下市21-2
野田歯科医院
①歯周病治療とそれをふまえた審美修復です。
②地域に密着した歯科診療です。
③できる限り患者さんの希望にそった診療
④まだ知識も経験も未熟なので、これからがんばっていきたい。

一般会員

高田　宗秀
菊池郡大津町室982-2
クローバー歯科・こども歯科
①歯周外科・メインテナンス
②患者第一主義の診療
③成人と小児のスペースをわけて診療を行っている。
④地域密着の診療を行い、みなさんに満足していただけるようにしていきたい。

勤務医会員

井原功一郎

熊本市子飼本町4-14

伊東歯科医院

國芳　秀晴

熊本市子飼本町4-14

伊東歯科医院

会　務　報　告

自　平成20年 9月 5日
至　平成20年10月23日

所　管	日　付	摘　　要	出　　席
総　務	9月5日	支払基金幹事長来館　支払基金幹事の委嘱状伝達	堤会長
		第2回熊本県医療審議会（県庁）	堤会長
		8020支援事業打ち合わせ　（1）ヘル歯ー元気8020支援事業	渡辺常務理事、八木理事他1名
	6日	月次監査	前野・片山監事
	8日	県への在宅歯科診療機器整備補助に関する要望（県庁）	浦田専務理事、松岡・八木理事、澤田事務局長
		熊本県警・徳永刑事部長就任挨拶のため来館	堤会長
		故緒方俊博会員（人吉市）従六位伝達式	堤会長
		熊本地方社会保険医療協議会（チサンホテル熊本）	堤会長
		第7回理事会 （1）新入会員の承認（2）平成20年度臨時代議員会の対応 （3）臨時代議員会の事前質問ほか	堤会長他全役員
	10日	第12回日歯常務理事会（日歯会館）	堤会長
		第6回日歯臨時理事会（日歯会館）	堤会長
		労務管理打合せ	西野常務理事、澤田事務局長
	11日	第161回日歯代議員会（1日目）（日歯会館）	堤会長、上田副会長、浦田専務理事、渡辺常務理事
		県警察歯科医会会員之証作製打合せ	吉田副会長他1名
	12日	第161回日歯代議員会（2日目）（日歯会館）	堤会長、上田副会長、浦田専務理事
		第117回日歯通常総会（日歯会館）	堤会長、上田副会長、浦田専務理事
	13日	臨時代議員会 ［議事］（第1～5号議案）［協議］1．未入会者対策2．入会金・会費3．会員種別	古賀議長、大森副議長他全議員、堤会長他全役員
	16日	労働保険事務組合実務担当者初任者研修 （1）概算・確定申告、増減申告および時期　（2）雇用保険諸手続き方法（労働局）	木下書記
		県医療政策総室長・副室長との面談	堤会長
		新規職員採用試験	小島副会長、浦田専務理事、西野常務理事、澤田事務局長他3名
	17日	第24回日歯戦略会議（日歯会館）	堤会長
		8020推進事業打合せ （1）障害者・有病者・要介護者・訪問診療に関するアンケート調査	渡辺・中嶋常務理事、松岡・勇・八木理事
	18日	第7回日歯理事会（日歯会館）	堤会長
		第2回県医療・保健・福祉連携学会第1回実行委員会	小島副会長
	20日	県警察歯科医会研修会〔天草地区〕（ホテルサンロード）	吉田副会長、矢毛石会員
	22日	肥後銀行本店営業部「お客様感謝の集い」（ホテルキャッスル）	澤田事務局長
	24日	第12回常務理事会　（1）6020及び5025運動　（2）本会ホームページのリンク （3）旅費・日当ほか	堤会長他常務理事以上全役員
	25日	日歯年金運用に伴う大和ファンドコンサルティングとの打合せ（東京）	堤会長
		熊本県防衛協会新任将官等着任歓迎会（ホテルニューオータニ熊本）	前野監事
		8020推進事業打合せ　熊大・篠原教授との打合せ（熊本市）	小島副会長、浦田専務理事、渡辺常務理事
	27日	8020推進事業講演会「歯周病と全身疾患の関わり」講師：東京医科歯科大学 和泉雄一教授　参加者数：220名	堤会長、小島副会長、浦田専務理事、渡辺常務理事、松岡・伊藤・八木理事他
		八代歯科医師会総会・懇親会（八代ロイヤルホテル）	上田副会長
	29日	歯の健康力推進歯科医師等養成講習会打合せ（1）講習会打合わせ （2）県別の補助事業の要望書に関する検討　（3）自民党予算要望書に関する内容検討	浦田専務理事、松岡・八木理事
	30日	支払基金幹事会（支払基金）	堤会長
	10月2日	第13回日歯常務理事会（日歯会館）	堤会長
	10月2日	県との委託事業打合せ （1）平成20年度「8020運動推進特別事業」（委託事業） （2）熊本県歯科保健推進会議	渡辺常務理事、松岡・八木理事
	3日	平成20年度労働保険事務組合実務担当者研修会（火の国ハイツ）	木下書記
	6日	県プライマリ・ケア研究会総会・研修会	堤会長、小島副会長他役員

所　管	日　付	摘　　要	出　　席
総　務	10月6日	第13回常務理事会 （１）新入会員の承認　（２）歯科衛生士の業務　（３）混合診療ほか	堤会長他常務理事以上全員役員
	8日	長野県歯科医師会役員・郡市会長等時局講演会（長野市・ホテル国際21）	堤会長
	9日	第14回日歯常務理事会（日歯会館）	堤会長
		日歯機構改革検討打合せ会（日歯会館）	堤会長
	10日	歯の健康力推進歯科医師等養成講習会事前打合せ （１）歯の健康力推進歯科医師等養成講習会最終確認	八木理事他２名
		県警察歯科医会研修会〔玉名・荒尾地区〕（玉名文化センター）	吉田副会長
	11日	歯の健康力推進歯科医師等養成講習会　受講者：59名	堤会長、浦田専務理事、松岡・八木理事、松本・川瀬委員長他５委員
	12日	歯の健康力推進歯科医師等養成講習会　受講者：59名	小島副会長、浦田専務理事、松岡・八木理事、松本・川瀬委員長他５委員
		四国地区役員連絡協議会（香川・高松）	堤会長
		在宅歯科診療設備整備事業ヒアリングに係る打合せ	浦田専務理事、松岡・八木理事
	13日	第59回四国地区歯科医学大会（かがわ国際会議場）	堤会長
	14日	会長出務	堤会長
	15日	森枝県健康福祉部長、高橋県医療政策総室長との面談	堤会長、澤田事務局長
		口腔リハビリテーション打合せ	堤会長他１名
	16日	日歯・日歯連盟役員連絡協議会（日歯会館）	堤会長
		在宅歯科診療設備整備事業ヒアリング（県庁）	浦田専務理事、松岡・八木理事、澤田事務局長
		藤枝社労士との勉強会　人事考課者訓練	浦田専務理事、西野常務理事、澤田事務局長他３名
	18日	第61回九州歯科医学大会・厚生行事（福岡県各所）	堤会長、浦田専務理事他
		第７回警察歯科医会全国大会（京王プラザホテル札幌）	吉田副会長、緒方会員
		九地連役員会（福岡県歯会館）	堤会長
	19日	九州歯科医学大会受付事務説明会（福岡国際会議場）	田尻係長、日高書記
		第61回九州歯科医学大会（福岡国際会議場）	堤会長、浦田専務理事他
	20日	県後期高齢者医療運営協議会（県市町村自治会館）	上田副会長
	21日	第14回常務理事会 （１）新入会員の承認（２）新入会員研修会の日程 （３）平成21年度各委員会事業予算の立案に伴う助言ほか	堤会長他常務理事長全役員
	23日	日歯機構改革検討打合せ会（日歯会館）	堤会長
		第８回日歯理事会（日歯会館）	堤会長
		第３回県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会（県庁）	上田副会長
		県との歯科医療安全管理体制推進事業打合せ	犬束・竹下理事、澤田事務局長
学　術	9月5日	学術・社保合同研修会〔鹿本、菊池、阿蘇地区〕	伊藤理事、東会員
	16日	学術委員会 （１）歯周病と全身疾患のかかわりシンポジウム （２）九州各県学術担当者会 （３）２／22有料講演会（辻本先生）ほか	伊藤理事、松永委員長他全委員
	10月3日	学術・社保合同研修会〔八代、水俣・芦北地区〕（八代口腔保健センター）	伊藤理事・東会員
	4日	九州各県学術担当者会（福岡県歯会館）	伊藤理事、松永委員長
	10月14日	学術委員会 （１）11月９日　日歯生涯研修セミナー＆会員発表のプログラム （２）１／11，12インプラント講演会　（３）デンチャー名前入れほか	伊藤理事、松永委員長他全委員
社会保険	9月5日	社会保険事務局との打ち合わせ	上田副会長、浦田専務理事、勇理事
		学術・社保合同研修会〔鹿本、菊池、阿蘇地区〕	勇理事、田中副委員長
	9月17日	社会保険小委員会　（１）社保講演会内容	中嶋常務理事、勇理事他２委員
	27日	社会保険個別相談会　相談者１名	中嶋常務理事、前田委員長他２委員

所　管	日　付	摘　　要	出　　席
社会保険	27日	社会保険委員会 （１）保険だより （２）保険診療のヒント　（３）点数査定漏れのないカルテの作成ほか	中嶋常務理事、勇理事、前田委員長他全委員
	10月3日	学術・社保合同研修会〔八代、水俣・芦北地区〕（八代口腔保健センター）	前田委員長、清水委員
	4日	九州各県社会保険担当者会（大分県歯会館）	中嶋常務理事、勇理事、前田委員長
地域保健	9月19日	ヤクルト事業所健診　受診者：23名（ヤクルト）	田中宏会員他３名
		子育て応援団すこやか2009第１回実行委員会（ＫＫＴ）	八木理事
	20日	「子育てすくすくこども博2008」歯科相談（至21日）（グランメッセ熊本）	八木理事、川瀬委員長他４委員
	25日	地域保健小委員会 （１）健康日本21全国大会についての打ち合わせ　（２）九州各県地域保健担当者会	八木理事、川瀬委員長他２委員
	10月4日	健康日本21全国大会（県立劇場）	堤会長、渡辺常務理事、川瀬委員長、西委員
		九州各県地域保健担当者会（宮崎県歯会館）	八木理事、高橋委員
	8日	笑顔ヘルＣキャンペーン打合せ　（１）今年度の笑顔ヘルＣキャンペーン	宮坂・八木理事、立本・小田副委員長
	21日	サンスターとの打合せ	浦田専務理事、渡辺常務理事、八木理事他３名
	22日	地域保健委員会 （１）委託事業（２）笑顔ヘルＣキャンペーン事業 （３）第９回健康日本21全国大会への出展ほか	八木理事、川瀬委員長他全委員
厚生・管理	9月6日	人吉市健康診断（東間公民館）	山村礼二
	8日	熊本市・上益城郡健康診断	岩田浩志・成瀬公彦
	9日	熊本市・上益城郡健康診断	中川順一、嶋田英敏
	10日	熊本市・上益城郡健康診断	中川順一、前田邦治
	11日	熊本市・上益城郡健康診断	長忍、秋山清
	12日	熊本市・上益城郡健康診断	瀬井知己、松田惠
	13日	水俣芦北郡市健康診断（つなぎ文化センター）	鬼塚友文
	20日	八代健康診断（八代口腔保健センター）	岡田長久
	24日	厚生・管理小委員会 （１）九州各県担当者会議協議会回答・熊本国税局管内税務指導者協議会 （２）健康診断（３）講演会ほか	竹下理事、瀬井委員長他２委員
	25日	玉名郡市健康診断（玉名市民会館）	前田秀一
	10月1日	菊池郡市健康診断（笹の家）	北川隆之
	3日	球磨郡健康診断（あさぎり町保健センター）	花田雅弘
	4日	九州各県厚生担当者会（長崎県歯会館）	瀬井委員長、有働委員
	5日	剣道部壮行懇親会（熊本市）	堤会長、竹下理事
	11日	九州各県医療管理担当者会（佐賀県歯会館）	竹下理事、池嶋副委員長
広　報	9月13日	臨時代議員会取材	加藤委員長他１委員
	16日	広報委員会　（１）熊歯会報10月号・編集（２）九州各県広報担当者会	宮坂理事、加藤委員長他５委員
	17日	九州各県広報担当者会打合せ　（１）懇親会場下見（２）担当者会議会場レイアウト（熊本市）	宮坂理事他２名
	24日	広報小委員会（１）熊歯会報10月号・校正　（２）九州各県広報担当者会議	宮坂理事、加藤委員長他４委員
	29日	広報小委員会（１）熊歯会報10月号・校正　（２）九州各県広報担当者会議	宮坂理事、加藤委員長他３名
	10月4日	九州各県広報担当者会	堤会長、浦田専務理事、宮坂・高松理事、加藤委員長他全委員
	10月15日	広報委員会　（１）熊歯会報11月号・編集　（２）九州各県広報担当者会反省	宮坂理事、加藤委員長他全委員
	20日	テレメッセ打合せ　（１）11月６日（木）放映分打合せ	宮坂理事他１名
	22日	広報小委員会（１）熊歯会報11月号・校正	宮坂理事、加藤委員長他４委員
	23日	ヘルＣ写真コンクール審査会	宮坂・八木理事、立本副委員長
学校歯科	9月10日	第３回日学歯学術第一委員会（日歯会館）	渡辺常務理事
	9月18日	県ＰＴＡ災害見舞金安全会判定審査委員会（県総合福祉センター）	西野常務理事
	30日	学校歯科委員会 （１）学校歯科医研修会　（２）学校歯科保健推進大会 （３）学校歯科通信への対応ほか	渡辺常務理事、田上委員長、岩本副委員長他４名

所　管	日　付	摘　　要	出　　席
学校歯科	10月1日	県高等学校保健会第２回理事会（千原台高校）	吉田副会長
	9日	県学校保健会「児童生徒の心と体の健康づくり推進事業」第１回報告書作成委員会（県庁）	渡辺常務理事
	16日	県ＰＴＡ災害見舞金安全会判定審査委員会（県総合福祉センター）	西野常務理事
	22日	県学校保健会「児童生徒の心と体の健康づくり推進事業」第２回報告書作成委員会（県庁）	田上委員長
医療対策	9月5日	医療対策小委員会 （１）医療トラブルの事例　（２）冊子作成 （３）医療苦情に関する通知書ほか	犬束理事他２委員
	6日	医療対策小委員会　医療トラブルに対する会員向け広報対策	前野監事、片山委員長他２委員
	10日	医療対策小委員会　医療苦情・相談の事例の分析	犬束理事、前野監事他２委員
	16日	医療対策小委員会　（１）医療トラブルに対応　（２）会員向け広報対策	前野監事、片山委員長他２委員
	19日	医療対策委員会 （１）医療相談苦情事例報告　（２）九州各県医療安全対策担当者会　（３）冊子作成	犬束理事、前野監事他６委員、遠山啓介会員
	22日	医療対策小委員会 （１）医療相談・苦情相談の分析　（２）各郡市医療対策担当者会議 （３）マスコミとの協議会ほか	犬束理事、前野監事他２委員
	24日	医療対策小委員会　医療トラブルに対する安全・安心な医療環境の整備	前野監事、片山委員長他２委員
	25日	医療対策小委員会　医事紛争	犬束理事他２委員、坂本仁郎弁護士、損保ジャパン高木氏
	29日	医療対策小委員会　（１）会員の医療トラブルの対応　（２）患者との面談	前野監事、片山委員長他２委員
	10月4日	医療対策小委員会　会員配布文書校正	前野監事他２委員
	7日	医療対策小委員会　過去の医療相談・苦情の分析	犬束理事、前野監事他４委員
	10日	玉名郡市医療管理講演会（玉名文化センター）	犬束理事
	11日	医療対策小委員会　（１）医療トラブル対応　（２）会員向け院内掲示物の作成	犬束理事、前野監事他２委員
	14日	医療対策小委員会　過去の医療相談苦情事例の分析	犬束理事、前野監事他３委員
	16日	医療相談	犬束理事、前野監事他３委員
	17日	医療対策小委員会（１）会員向け院内掲示物（２）H18・19年度（医療・苦情相談）の分析	犬束理事、前野監事他４委員
	18日	医療対策小委員会（１）会員向け医療トラブル予防冊子作成（２）熊本県との協議事項	犬束理事他２委員
	20日	医療対策小委員会　会員向け冊子作成	犬束理事、片山委員長、瀬井委員長、反後委員
	22日	医療対策小委員会 （１）冊子作成　（２）講演会（３）各郡市担当者会議ほか	犬束理事、前野監事他２委員
センター・介護	９月５日	口腔機能・栄養改善研修会（合志市保健福祉センター）	松岡理事
	18日	熊本県介護支援専門委員更新研修（ＫＫＲホテル）	松岡理事
	29日	熊本県介護支援専門委員更新研修（ＫＫＲホテル）	規工川副委員長
	30日	熊本県介護支援専門委員更新研修（ＫＫＲホテル）	松本委員長
		口腔保健センターカルテ・会計チェック（口腔保健センター）	松岡理事
	10月4日	九州各県地域保健担当者会（宮崎県歯会館）	松岡理事、松本委員長
	16日	熊本県介護支援専門員更新研修会（火の君総合文化センター）	松本委員長
調査・ＩＴ	９月29日	調査・ＩＴ委員会 （１）事務局バックアップシステムの稼動運用状況（２）ＷＥＢ会議の有用性	高松理事、小野委員長他全委員
	10月14日	第12回日歯ＩＴ化推進委員会（日歯会館）	高松理事
学　院	９月６日	学院体験入学　参加者数：25名	
	13日	全国歯科衛生士教育協議会九州地区大会（鹿児島）	逢坂教務部長、大塚専任教員
	28日	自衛隊熊本病院創立五十一周年記念祝賀会（熊本市）	出口副学院長
	10月17日	学院入学試験委員会	堤会長、上田学院長他４委員
国保組合	９月16日	第４回国保理事会 （１）高齢者健康対策事業　（２）規定一部改正（案） （３）平成21年度からの保険料徴収方法と金額の変更ほか	堤理事長他全役員

会員専用グループ保険のご案内

随時加入募集中!!

グループ保険　Ⅰ 団体定期保険　Ⅱ 新医療保障保険団体型

Ⅰ 団体定期保険

充実した保障内容
合理的な 死亡保障 の確保に！

平成19年度も配当金があり、加入者全員に還元されました！

① 割安な保険料で高額保障
災害に起因する死亡の場合は、災害保険金が上乗せされます。
② 高度障害保険金・障害給付金も準備されます
③ 最高 75歳まで継続更新可能
70歳以降は、加入限度額が小さくなります。
④ 入院給付金（災害時のみ）の保障もあり

30年以上の長期にわたり、熊本県歯科医師会で採用されている福利厚生制度です。

随時加入できます

Ⅱ 新医療保障保険団体型

ニーズの高い病気入院の保障が
低価格でプラスできます！

① 疾病・災害、いずれも保障の対象！
② 入院給付金は１日目からお支払します
入院給付金額はプランにより日額5,000円～15,000円の中から選べます。
③ 通算 1,000日分の入院給付金のお支払（１入院は60日まで）
④ 最高89歳まで継続更新可能
⑤ 配偶者・お子様もご加入可能

この保険は当グループ内で１年ごとに収支計算を行ない剰余金が生じたときは配当金としてお返しするしくみになっております。

H19年度の配当金個人還元率は、Ⅰ 団体定期保険より約17%、Ⅱ 新医療保障保険団体型より約6%が加入者全員に還元されました。

この制度は昭和54年に発足して、H20年8月１日現在で347名（配偶者含む）が加入している会員専用の制度です。

お問い合わせ

熊本県歯科医師会 事務局　担当：田尻　TEL096-343-8020

Volkswagen. Das Auto.

熊本県歯科医師会会員の皆様へ

Golf GTI 20万円購入サポート実施中！

対象期間 2008年11月1日(土)～12月末日
(上記期間中にご登録を完了された方を対象とさせていただきます。詳しくはスタッフへお問い合せください。)

Golf GTI ゴルフ GTI 4ドア 6速DSG® 右ハンドル

車両本体価格 **3,520,000円***

1.9% ［実質年率］ Solutions ボーナス併用36回払いの場合

月々のお支払い **9,500円**

頭金（下取車充当可）…1,200,000円
ローン対象金額 ……2,320,000円
初回お支払い額……11,604円
ボーナス月加算額×6回…125,000円
月々……9,500円
最終回お支払い額……1,340,000円
お支払い総額……3,624,604円

*登録に伴う諸費用、税金（消費税を除く）、保険料、リサイクル料金は、別途申し受けます。

会報をご持参ください！

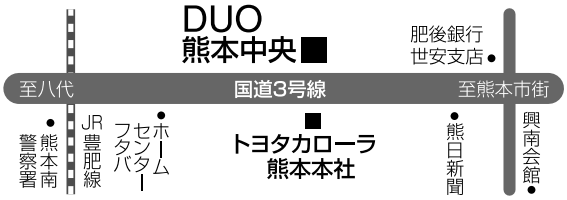
フォルクスワーゲン純正オプション 3万円 購入支援実施中！

フォルクスワーゲン正規ディーラー **DUO熊本中央**

営業時間：9:30～18:30　定休日：毎週火曜日

〒860-0823 熊本市世安町185　http://www.duo-kumamoto.jp/

フォルクスワーゲンのカタログはトヨタカローラ熊本の各店でもご覧いただけます。



お問い合わせは今すぐ、DUOコールへ (096)351-5111

12 行事予定

1日（月）	第 17 回　常務理事会
6日（土）	新入会員研修会
16日（火）	第 18 回　常務理事会
22日（月）	第 10 回　理事会
27日（土）	事務局仕事納め

編集後記

連休を利用して香港・マカオに行ってきました。高層ビルの多さにビックリ!! 東京の比ではありません。でも、このビル、どんなに高くても建設の時足場は竹で組むのだそうです…なんいうエコ！

そしてマカオは、食事は美味しいし風情はあるし××は××だし…「最高」としか形容する言葉がみつかりません。本気でいつか移住しようかな。(K.I)

8020 歯からはじめる。笑顔ヘルC

発行日／2008年11月15日発行
発行人／堤　直文
発行所／社団法人　熊本県歯科医師会
〒860-0863　熊本市坪井2丁目4-15
TEL　096-343-8020
FAX　096-343-0623
URL http://www.kuma8020.com
印刷所／コロニー印刷